

管理運営状況評価書【対象年度:平成22年度】

課名 生涯学習まちづくり課

施設名	掛川市清水邸						
条例名	掛川市清水邸条例						
施設設置目的	清水邸の自然、文化及び歴史を市民に広く開放するとともに、茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の発展に寄与するため						
指定管理者名	(財)掛川市生涯学習振興公社						
指定期間	平成20年4月1日から平成23年3月31日まで						
自主事業の有無	有り(事業費392千円)						
指定事業の有無	(事業費 千円)						
使用料制・利用料金制の別	使用料制						
決算状況等 (単位:千円)		H18	H19	H20	H21	H22	備考
	指定管理料(A)	6,500	5,800	6,283	6,006	5,800	詳細 様式 2-2
	施設利用料(B)	1,314	1,143	1,157	1,064	1,150	
	差引(B-A)	△ 5,186	△ 4,657	△ 5,126	△ 4,942	△ 4,650	
事業報告書	有り(法第244条の2第7項による義務付け)						
利用者満足度調査等実施の有無	有り(講座等のアンケート)						
評 価	評価内容	結 果			改 善 策		
	1 施設運営目的の達成度	呈茶実績は2,445人で前年を176人上回り、庭園への入園者はその3倍程度ある。清水邸の緑化等を管理し、庭園を市民に親しまれる場として開放し、茶室である湧水亭でも呈茶サービスに支障の無いよう大須賀茶道連盟と連携し、茶道文化の継承に努めた。			呈茶実績は横ばい状況が続いている。庭園には大勢の方が来られるが茶室という硬いイメージがあり、なかなか入ってこない。喫茶店に入るような気軽に入れるPRが必要		
	2 利用者満足度	庭園を見られる方は管理された庭園の良さに満足している。茶室入館者のアンケート調査を行った結果大部分の方が満足していた。					
	3 効率的な運営	限られた予算の中で管理する(財)掛川市生涯学習振興公社と呈茶サービスする大須賀茶道連盟と連携し、効率的に管理運営ができた。			更なる発展のため、他の茶室の管理運営方法、利用者への接遇方法を視察研修し、取り入れていく工夫が必要と思う。視察研修費の予算が必要と思う。		
4 その他の課題等	清水邸の主な管理運営業務は、掛川市生涯学習振興公社へ管理、呈茶サービス業務は大須賀茶道連盟に委託して管理運営されている。より効率的に連携がとれるよう指定管理者のほうへ呈茶サービス業務を盛り込んだ方が良いと考える。			指定管理者と大須賀茶道連盟との協議の基、双方の了解が必要			

様式2-2(使用料制施設用)

掛川市清水邸

<指定管理料内訳(A)>

(単位:円)

区 分	H20決算	H21決算	H22決算	備 考
人 件 費	1,688,296	1,733,273	1,745,793	
委 託 料	3,008,820	3,251,764	3,075,144	
緑化管理	2,627,100	2,627,100	2,453,453	
防犯・防火管理	26,012	151,200	147,420	
シルバー委託	355,708	446,164	435,106	
エアコン保守		27,300	39,165	
印 刷 費				
通 信 費	82,889	101,842	112,970	
修 繕 費	205,117	94,500	39,060	
清 掃 費				
保 守 点 検 費				
借 上 料				
光 熱 水 費	327,096	289,051	297,407	
燃 料 費				
保 険 料	4,800	49,800	37,250	
そ の 他	966,292	485,770	492,376	
合 計	6,283,310	6,006,000	5,800,000	

<施設利用料(B)>

(単位:円)

区 分	H20決算	H21決算	H22決算	備 考
施設利用料収入	1,157,240	1,063,520	1,150,980	掛川市へ収入

<施設利用者数>

(単位:人)

区 分	H20決算	H21決算	H22決算	備 考
施設利用者数	2,539	2,269	2,445	呈茶実績人数